

これからの教育(令和の日本型学校教育)と  
教師に求められる資質・能力

参加  
無料

# 学びを楽しめる教師であるために ~これからの教師に求められる省察・コーチング・ファシリテーション~

講師

本間 正人氏 (京都芸術大学教授)

「教育学」を超える「学習学」の提唱者であり、「楽しくて、即、役に立つ」参加型研修の講師としてアクティブ・ラーニングを25年以上実践し、「研修講師塾」「調和塾」を主宰。誰もが最新学習歴を更新し続ける「学習する地球社会(Learning Planet 2050)のビジョン」を創ることをライフワークとしている。

現在、京都芸術大学教授、社会情報大学院大学客員教授、松下政経塾主幹、NPO学習学協会代表理事、一般社団法人大学イノベーション研究所代表理事、一般社団法人クロスオーバーキャリア代表理事、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会理事、NPOハロードリーム実行委員会理事などをつとめる。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉、英語学習法、などの著書79冊。

東京大学文学部社会学科卒業、ミネソタ大学大学院修了(成人教育学 Ph.D.)。ミネソタ州政府貿易局、NHK教育テレビ「実践ビジネス英会話」の講師などを歴任。



写真撮影:高橋保世

対談者

村上 忠幸氏 (京都教育大学教授)

京都教育大学教育学部教授。専門は理科教育、教師教育、化学生態学、博士(学術)。探究学習(自由で協働的な探究学習)、マルチプル・インテリジェンスMI、オランダの教育、教師教育(メンターシップ:コーチング、省察、ファシリテーション)を研究テーマとし、教師教育における新しい能力の育成に向けて、メンターシップについて研究および教員研修を展開している。



日時

2022年  
2月19日(土)  
14:00~16:30

方法

オンライン(Zoom)  
にて開催

定員

200名

プログラム

講演  
対談  
講師によるアクティビティー

※プログラムの内容は変更となる場合があります

2021年1月に中央教育審議会から「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」が答申されました。この答申では、2020年代を通して実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をあげています。以前から教育現場でも重要といわれてきたファシリテーションやコーチングですが、「個別最適な学び」を支えるコーチング、「協働的な学び」を支えるファシリテーションはますます重要になると考えられます。

今回の講演会では、我が国においてコーチングの第一人者であり、従来のティーチングによる指導を見直し、ファシリテーションとコーチングによる指導を中核とした「学習学」への移行を提唱している本間正人氏を講師にお迎えします。自ら学ぶ意欲を高める為のコーチングとファシリテーションの考え方や方法について、アクティビティーや本学教員との対談を交えて、ご講演いただきます。

## お申し込み方法

- 本講演会は、京都府・市公立学校関係者、その他全国の教育関係者、本学教職員、本学学部学生、大学院生等を対象とします。
- 参加をご希望の方は、**2022年2月9日(水)**までに申し込みをしてください。定員に達し次第受付を終了いたしますので、お早めにお申し込みください。
- 申し込みはGoogleフォームにて受け付けます。**  
下記URLにて必要事項(氏名、ふりがな、所属、役職、電話番号、メールアドレス)を入力して申し込みを行ってください。

申し込みフォームURL：<https://forms.gle/RNtE4ternxF1gnan9>



二次元バーコードはこちら→

- ご提供いただきました個人情報は、本講演会の運営に関して必要がある場合のみ利用します。ご本人の同意を得ずに、個人情報を第三者に提供することはありません。

## 開催日までに確認等をお願いすること

- 講演会開催の3日前までに、申込時にご入力いただいたメールアドレスへ配信視聴に必要なURL等の情報をお知らせしますので、ご確認ください。配信方法は、Zoomを予定しています。
- 視聴に必要なパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかとオンライン通信環境をご用意願います。職場のパソコン、タブレット、スマートフォンおよび通信環境を利用される場合は、職場のセキュリティ設定や利用ルールにより接続できないことがあります。事前に職場の情報管理者等へ確認や許可を取っていただくようお願いいたします。
- 講演会視聴用URLは他の方に教えないでください。
- 肖像権・著作権の関係から、講演会の録画または録音をお断りします。また、SNSやブログ、ネット掲示板(もちろんリアル掲示板も)等へ掲載しないでください。